


観光社会資本の事例

テーマ	水都大垣市の観光地水門川
【施設の状況写真】	
	
<p>船下り芭蕉まつり (4月桜の花が咲く下を船下り)</p>	<p>噴水の夜景 (ライトアップされた夜景の噴水)</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>万灯流し (七夕まつりの夜に万灯流し)</p>	<p>たらい船川下り (家族で昔なつかしいたらい船川下り)</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>大垣市では、水門川を市のシンボルとして、水都大垣にふさわしく水を象徴化し、まちの軸と位置付け、川からのまちづくりに取り組んでいる。</p> <p>観光面でも、船下り芭蕉まつり、万灯流し、たらい船川下りなどのイベントや行事を市民の創設で行い、大垣市観光協会とタイアップして「市の観光資源」として利用を進めている。</p>	

テーマ	水都大垣市の観光地水門川
【社会資本の基礎データ】	
○名称	水門川親水護岸
○所在地	岐阜県大垣市郭町4丁目～本町1丁目
○事業名	水門川環境整備事業
○事業主体	大垣市
○事業期間	昭和61年～平成13年
【社会資本の役割・効果】	
○治水効果	<p>水門川はS34の台風7号による被害(浸水戸数:4,716戸)を契機に、県において護岸工等の河川改修を進めてきている。</p> <p>大垣市郭町～本町は、大垣市の中心部であり、大垣城等の歴史的な名所が多く存在するため、観光面も含め、県と大垣市でタイアップし、河川環境整備を実施した。</p> <p>これにより、親水性も含め護岸としても強化されたため、治水安全度が向上した。</p>
【位置図】	
	
【関連ホームページ】 大垣市観光協会: http://www.ogakikanko.jp/	